

令和元年門真市教育委員会第4回定例会

開催日時 令和元年8月30日（金） 午後2時

開催場所 本館2階 大会議室

議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第23号 平成31年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
- 日程第4 議案第24号 令和元年度教育費補正予算の見積り申出について
- 日程第5 議案第25号 門真市教育委員会点検・評価報告書の提出について
- 日程第6 諸報告

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第6まで

出席委員

教育長	久木元 秀平
教育長職務代理者	長澤 信之
委員	土川 好子
委員	高橋 元
委員	松宮 新吾

事務局出席職員

教育部長	満永 誠一
教育部管理監	西口 孝
教育部次長	
兼教育総務課長	中野 康宏
教育総務課参事	渡辺 廣大
教育部学校教育課長	峯松 大輔
教育部学校教育課参事	高山 拓也
教育部学校教育課参事	
兼教育センター長	植原 宏仁
教育部社会教育課長	
兼図書館参事	隈元 実
教育部図書館長	牧菌 友広

こども部長
こども部次長
保育幼稚園課長

内田 勇
坂本 裕
西川 和志

久木元教育長 開会宣告 午後2時

日程第1 会議録署名委員の指名

久木元教育長より 長澤 信之 委員を指名

日程第2 会期の決定

本日1日と決定

日程第3 議案第23号 平成31年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
説明者 植原学校教育課参事

議案書2ページ及び別添カラー刷り資料をご覧ください。

4月18日に実施されました全国学力・学習状況調査の結果が、7月31日に文部科学省より公表されたことに伴い、本市でもその結果について市民の方々にお知らせすべく公表したいと考えております。

公表の内容につきましては、カラー刷りの資料をご覧ください。

結果概要を申し上げますと、小学校は、国語においては「読むこと」の領域において正答率が高く、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において課題が見られました。算数は、「図形」の領域において正答率が高く、「量と測定」の領域において課題が見られました。また、中学校は、英語においては「聞くこと」の領域において正答率が高く、「書くこと」の領域において課題が見られました。数学においては「図形」の領域において正答率が高く、「関数」の領域において課題が見られました。国語に

においては「書くこと」の領域において正答率が高く、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において課題が見られました。

2枚目は、小・中学校の教科区分ごとの正答率、対全国比、正答数分布です。

3枚目は、児童生徒質問紙の中から、授業や自尊感情、家庭学習に関連する項目や生活状況の結果を掲載しております。

公表につきましては、本日議決をいただければ、お配りした結果概要を、門真市のホームページで公表し、広報かどま11月号にも併せて掲載したいと考えております。

松宮委員： ご準備いただいております資料に関して、色々と配慮されていることと考えております。特にこれを目にする市民、また学校関係者だけではありませんので、誤解を生じたりとかそういうことがなく、門真市の今の状況を把握して、その状況に基づいて教育の改善、質の向上を行っていくということが求められると思います。

特に、最後の資料にありますけれども、家庭での生活、朝食を毎日食べる生徒の割合と成績の相関をマスメディアの公表の仕方もあるんですけれども、朝食を食べさせればいいという発想で朝食を食べせれば成績が上がるなどという誤解も生じているところでありますので、それに関しまして、一番下のところのコメント欄ですね、こういう丁寧な説明を書きいただいているところが非常に重要なところかなと思います。また今後、教育委員会としましてもこういった実態に基づき授業の質の改善というあたりで、例えば、国語・英語等の言葉の力、言語運用能力、これは他の教科にも繋がっている内容になりますので、教員研修等によって反映させていただければと思います。

植原学校教育課参事： 参考にさせていただきます。

[全委員異議なく、可決]

日程第4

議案第24号 令和元年度教育費補正予算の見積り申出について
説明者 中野教育部次長兼教育総務課長

まず、歳出からご説明いたします。

議案書5ページをご覧ください。

款：教育費・項：小学校費・目：学校管理費1億1,946万8千円の追加は、門真小学校トイレ改修工事の実施設計業務委託、並びに同小学校トイレ改修工事及び東小学校トイレ改修工事の実施に伴い計上しております。

次に、款：教育費・項：中学校費・目：学校管理費878万1千円の追加も、第七中学校トイレ改修工事の実施設計業務委託の実施に伴い計上しております。

次に、議案書6ページをご覧ください。

款：教育費・項：幼稚園費・目：幼稚園管理費124万7千円の追加は、加配対象児童に対応する臨時的任用職員について、当初の想定以上に対象児童の受入があり、新たに採用が必要なことから、賃金の不足分を計上しております。

次に、歳入についてであります。

議案書4ページをご覧ください。

款：国庫支出金・項：国庫補助金・目：教育費国庫補助金2,224万5千円の追加は、門真小学校及び東小学校のトイレ改修工事の実施に伴い、学校施設環境改善交付金を計上しております。

次に、款：市債・項：市債・目：教育債9,030万円の追加は、門真小学校及び東小学校のトイレ改修工事、並びに第七中学校トイレ改修工事の実施設計業務委託の実施に伴い、学校教育施設等整備事業債及び防災・減債・国土強靱化緊急対策事業債を計上しております。

次に、地方債の変更についてであります。

議案書7ページをご覧ください。

学校教育施設等整備分につきまして、限度額9,990万円から1億9,020万円に変更いたしましたものでございます。

松宮委員： 参考までにお聞きしたいのですけれども、門真市の小・中学校で建築された年度にもよると思いますけれども、改修が必要であると認められる小・中学校での改修の現状はいかがでしょうか。

中野教育部次長兼

教育総務課長： トイレ改修工事につきましては、これまで過去において大規模

改造事業、また部分改修により取組んでおりまして、現時点で、未改修の学校は小学校4校、中学校1校となっております。この内、今年度当初予算にて、1校が改修予定でありまして、本件議案において計上しております予算可決後にはさらに2校において改修が行われる予定でございます。

松宮委員： はい。ありがとうございます。

[全委員異議なく、可決]

日程第5

議案第25号 門真市教育委員会点検・評価報告書の提出について
説明者 満永教育部長

別冊の教育委員会点検・評価報告書をご覧ください。

教育委員会では、毎年、その権限に属する事務について、事務の進捗状況を明らかにし、課題を分析するために施策の点検及び評価を行っています。

この点検及び評価を行うに当たっては、学識経験者に客観的な視点から意見・助言を求めるために点検評価検討委員として委嘱し、門真市教育委員会点検評価検討委員会を2回開催し、その意見・助言をいただきました。

点検・評価を実施する方法としましては、平成28年3月に策定した「門真市教育振興基本計画」に基づいた教育委員会の主要施策を点検・評価しております。

具体的には実施する施策について、「現状と課題」、「今後の方向性」、「主な実施事業」、「成果概要」「課題と今後の目標」を記載した点検・評価シートを作成し、今後の施策の改善や見直しにつなげております。

なお、点検・評価シートに関しては、「門真市教育振興基本計画」における、3つの基本目標に沿った形で、作成をしております。

それでは、4ページをご覧ください。

まず、「門真市教育振興基本計画」における、基本目標1「0歳からの15年一貫教育で子どもの夢と幸せをはぐくみます」についてです。

基本目標1の施策の方向としては、

- 1 「確かな学力をはぐくみます」
- 2 「豊かな心と健やかな体をはぐくみます」
- 3 「障がいのある子ども一人ひとりの自立を支援します」
- 4 「15年一貫教育を進めます」

の4つを定め、各「施策の方向」毎に「実施施策」を展開しております。

具体的な実施施策に係る「点検評価シート」は5ページから37ページに記載しております。

点検・評価検討委員のご意見・ご助言に関しましては、39ページから40ページにかけて、項目ごとに記載されております

次に、42ページをご覧ください。

基本目標2「多様な学びの機会を実現する充実した教育環境をつくれます」についてです。

基本目標2の施策の方向としては、

- 1 「新たな時代にふさわしい育ちの環境をつくれます」
- 2 「チーム学校をつくれます」
- 3 「安全・安心で自立した学校をつくれます」

の3つを定めております。

各「施策の方向」毎に「実施施策」を展開しております。

具体的な実施施策に係る「点検評価シート」は43ページから60ページに記載しております。

基本目標2「多様な学びの機会を実現する充実した教育環境をつくれます」に係る、点検・評価検討委員のご意見・ご助言に関しましては、61ページをご覧ください。

次に、62ページをご覧ください。

基本目標3「子どもを真ん中に学校、家庭、地域、行政がつながります」についてです。

基本目標3の施策の方向としては、

- 1 「継続性のある子育て支援でみんながつながります」
- 2 「子どもの居場所づくりでみんながつながります」

の2つを定め、各「施策の方向」毎に「実施施策」を展開しております。

具体的な実施施策に係る「点検評価シート」は63ページから72ページに記載されております。

基本目標3「子どもを真ん中に学校、家庭、地域、行政がつながります」に係る、点検・評価検討委員のご意見・ご助言に関し

ましては、73ページをご覧ください。

また、74ページには点検・評価検討委員からの「全体を通しての意見」を記載しております。

長澤教育長職務代理者： 私の方から1点だけお尋ねします。11ページから13ページにかけて記載されている「門真市開発的生徒指導の推進」について、④の「安心して学べる学校と学校組織の編成」の成果指標では暴力事案が、中学校では減少傾向にあるものの、昨年の12月頃に文部科学省初等中等教育局が出したいじめ暴力問題に関する通知文では、「小学校での暴力事案が増加の傾向にあるため対応を検討されたい。」という内容であったと思います。

本市の状況を見てみますと、平成29年度は急激に増加しており、平成30年度は若干減少しているものの決して安心できる状況ではないと思います。

非行年齢の低年齢化と言われて久しいのですが、どちらかと言えば虞犯行為が増えてきていると言われていたのですが、近年は暴力行為が増えてきているということです。小学校の暴力行為が増えてきていることに危惧を感じています。小学生の暴力行為が増えている原因は何なのか、今年度の一学期の市内小学校の現状と合わせ、増減の原因や取組等を聞かせてください。

峯松学校教育課長： まず、今年度の一学期については、小学校の暴力行為の件数は31件で、平成30年度の一学期の45件と比べると大きく減少しております。

平成29年度に小学校の暴力行為件数が増加した原因としましては、府の「小中学校生徒指導体制推進事業」という取組で小学校にも生徒指導の加配が配置されたり、小中学校間で生徒指導の連携がより強くなってきたことにより、小学校における「暴力行為」の認知の仕方がより中学校に近づいてきたということが挙げられます。

小学校の暴力行為件数は府下全体としては増加傾向にあるとのことですが、平成30年度及び令和元年度の一学期については本市においては減少しております。これは開発的生徒指導を小学校でもしっかりと取り組んでいることや、関係機関も含めた組織での対応を進めていることが成果として表れていると捉えております。

今後も保護者を含めた子どもの支援を組織的に行うことで、暴

力行為件数の減少につながると考えております。

長澤教育長職務代理者： 今年度の31件の内容については、偶発的なものが多いですか。それとも原因等がはっきりしていないものが多いですか。

峯松学校教育課長： 確認させていただきます。

長澤教育長職務代理者： 分かりました。

高橋委員： 29ページから30ページにかけて子どもの読書活動の推進ということで、30ページの③学校等との連携・協力の推進と記載がありますが、実際にはどのような取り組みをされましたか。

牧菌図書館長： 取り組みといたしましては、図書館で7月に学校図書館司書のスペシャルイベントと図書館のマンガ講座を共催で行い、多くの子どもたちに参加いただきました。11月には歴史資料館、図書館、学校とのコラボ企画として、市が55周年を迎えたことを記念し、小学校図書委員と中学校図書部が歴史資料館で門真歴史クイズや関連図書を、POP、すなわち本の紹介カードで紹介し、同様の図書の展示会を図書館で行いました。

また、図書館見学では従来の図書館の利用方法の説明に加え、学校からの要望により、小学5年生には「調べ学習について」の説明を行いました。他にも小学校の図書委員に図書館ツアーなどを、中学校には、幼稚園や小学校で生徒が読み聞かせができるように、図書館職員が学校に出向き指導いたしました。

松宮委員： 37ページの「めざせ世界へはばたけ事業」のついてお聞きします。回数を重ねることによって、大学生やOG等の協力体制が整ってきていることや、オオサカイングリッシュでの英語体験学習を新たに実施するなど、インセンティブを高めるといった様々な工夫を年度ごとにしていることが分かります。

一方で、評価に関することですが、各方面からの意見・助言にもあるように、単発的なイベントではなく、日常の英語の授業や関連する授業の中での積上げというような1つの成果の発表の場という認識をしております。市民等へアピールすることや、学校授業との関連づけが、今後、さらに発展させていくための工夫が

必要と考えています。今後の事業展開で具体的にその辺りを補強していくような施策を考えているようであれば、教えてください。

隈元社会教育課長： ご指摘のとおり、コンテストの審査員における事業評価においても同様の指摘をされております。

現在の対応状況としましては、毎年、全小中学校へ海外派遣研修報告チラシの掲示依頼をしていることに加え、今年度は、海外派遣の内容が、より分かりやすいものとなるよう、例年よりも市ホームページに多くの写真を掲載いたしました。

アンケート結果でも、現地の様子が良くわかったという声が寄せられています。

コンテスト自体の広報としましては、写真や動画を活用して、学校の授業や広報等に活用したいと考えておりますが、広報等へ写真や動画を使用することについて、承諾を得られないケースも発生しております。

今後の展開としましては、保護者や生徒に対し、事業趣旨を丁寧に説明し、理解していただいた上で、学校とも調整を行い、授業や広報等にも、さらに活用できるように進めてまいりたいと考えております。

松宮委員： はい。ありがとうございます。

土川委員： 57ページの「学校施設の改善」について、昨年度は地震や台風があり、大変であったと思いますが、その時の対応などを教えてください。

中野教育部次長兼

教育総務課長： 6月18日に発生した大阪北部地震において、受水槽の故障や給食棟のひび割れがあったため、修繕を実施しました。また、門真市内の小中学校にあるプールサイドのブロック塀の緊急点検を実施したところ、小・中学校合わせて14校に存在することが判明したため、このブロック塀を撤去し、フェンスを設置いたしました。

9月4日に近畿地方を通過した台風第21号においては、空調機の破損や校舎の漏水、給食棟のダクトの破損などがあったため、それぞれ修繕を実施しました。

土川委員： ありがとうございます。

[全委員異議なく、可決]

日程第6

諸報告

久木元教育長より、諸報告については報告をした後、質疑応答となる旨説明があった。

番号1 令和元年度門真市教育研究指定校について
説明者 植原学校教育課参事

諸報告資料1ページをご覧ください。

教育研究指定校制度は、指導方法の工夫改善や生徒指導等、特色ある教育研究活動に積極的に取り組む学校に対して、1校あたり20万円から30万円の予算補助を行い、研究推進をサポートするものです。

今年度は、四宮小学校、門真小学校、上野口小学校、脇田小学校、第三中学校、門真はすはな中学校、新規としまして大和田小学校、東小学校の8校を研究指定校として決定いたしました。各校の研究主題と要旨は、一覧のとおりでございます。

なお、上野口小学校、脇田小学校、第三中学校は、今年度が研究指定最終年度となりますので、一覧表にございますとおり研究成果を市内に発表する予定でございます。

番号2 令和2年度門真市立幼稚園児の募集について
説明者 西川保育幼稚園課長

諸報告資料の2ページ「令和2年度門真市立幼稚園児募集要項」をご覧ください。

1.の応募資格につきましては、幼児及び保護者の住所が本市にあることとし、2年保育の4歳児は平成27年4月2日から平成28年4月1日までの間に生まれた幼児、1年保育の5歳児は、平成26年4月2日から平成27年4月1日までの間に生まれた幼児とし

ております。

2. の募集人数につきましては、大和田幼稚園の4歳児定員60人に対しまして同数の60人、5歳児定員70人に対しまして45人程度としております。

3. の入園願書等の交付につきましては、9月2日（月）から10月10日（木）までとし、交付場所は大和田幼稚園及び保育幼稚園課窓口としております。

4. の入園願書等の受付につきましては、10月1日（火）から10日（木）までとし、願書の受付は大和田幼稚園としております。

5. の入園の決定、6. の調整日及び抽選日につきましては、記載のとおりです。

7. の入園許可説明会につきましては、1月15日（水）に、大和田幼稚園で実施することとしております。

8. の時間外教育、9. の通園バスにつきましては、記載のとおりです。

10. の費用等のうち利用者負担の額につきましては、幼児教育の無償化に伴い、0円となっております。

11. 特記事項につきましては、記載のとおりでございます。

—すべての報告が終了—

久木元教育長

閉会宣言 午後2時30分

門真市教育委員会会議規則第24条の規定により署名する。

門真市教育委員会

教育長 久木元 秀平

署名委員 長澤 信之